

## 高品質な医療環境の実現～設備と運用の最適化～



ダイダンは、質の高い医療を提供するための最適な環境の構築に取り組んでいます。再生医療分野では、製品の研究開発から製造、そして患者へ投与するそれぞれの場面に適したクリーン環境(施設)が求められます。しかし当初の設備計画と運用実態の不一致から、作業へ負担がかかったり施設の改修コストが増加してしまい、産業化の促進を阻む一因となっています。

私たちはグループ会社のセラボヘルスケアサービス株式会社(セラボHS社)が2023年度に開始した細胞製剤の製造受託サービスを通じて、施設運用のための多くの知見を得てまいりました。ダイダンは持つ確かな施工力にこの施設運用ノウハウを新たに融合することで、治療を提供する側と受ける側の双方に最大限のメリットをもたらす最適な設備と運用支援サービスを提供してまいります。

### 用途に合わせた小規模クリーン環境の構築～提案力の強化と効率化～

高度な医療を提供する過程では、医療機関の他に製造所や研究機関などでも用途に合わせたクリーン環境が求められます。いずれの施設も運用のイメージが明確でないまま設備を構築した場合、実際に運用を開始してから不備が生じ、結果として利用者にとって負担の大きい設備となることが少なくありません。特に小規模クリーン環境では、限られたスペースに生産機器や什器類を配置する必要があるため、それらの運用を十分に理解したうえで設備を計画することが重要となります。

グループ会社のセラボHS社では、ダイダンの施工ノウハウを踏襲したクリーン環境の施工部門と細胞製剤の製造受託サービス部門を設けています。施工と運用のプロフェッショナルがお客さまの抱えるさまざまな課題に対応し、設備と運用のバランスを最適化したプランを迅速にご提案しています。

新たな技術やサービス、検証などが必要な場合は技術研究所と連携して効率的に解決を図り、グループ一丸となってお客さまのご要望にお応えします。



### 機器販売事業から細胞培養受託事業への橋渡し～お客さまへの継続的な伴走支援～

小規模クリーン環境を対象にした開発製品(オールインワンCPユニット®他)の2023年度の受注は34台(前年比240%)となり、堅調に実績を伸ばしています。

ダイダングループではこの機器販売でつながりをもったお客さまの事業フェーズに合わせ、継続的な伴走支援をしております。

細胞製剤の開発初期からお客さまに寄り添うことで、将来的に大規模製造へ移行する際に、細胞培養受託や大型製造施設の施工へつなげてまいります。大型製造施設の計画では、セラボHS社の施設運用で得た知見を活かし、製造効率に配慮した提案をいたします。



### セラボ羽田の開設～藤田学園との連携～

2023年10月に、「藤田医科大学東京 先端医療研究センター\*1」(東京都大田区)4階の産学協同エリアに「セラボ羽田」の名称で医療施設向けコンパクトCPF\*2を開設しました。この施設では、細胞操作を行うためのコンパクトなクリーン環境を実現する細胞培養加工ユニット「オールインワンCPユニット®」を導入しています。ショールームも兼ねているため、実際に藤田医科大学様が細胞操作などの運用を実施している様子を見学窓からご覧いただくことができます。

「セラボ羽田」開設により、医療施設で活用している状況を多くの皆さまにご見学いただくことで、再生医療関連施設や研究施設へ容易にクリーン環境を構築できることをアピールしています。

\*1: 藤田医科大学東京 先端医療研究センター  
学校法人 藤田学園が羽田空港に隣接する商業施設 Hi-Cityに開設した最先端の医療や周辺機器研究を行う施設。当社の再生医療事業拠点の「セラボ殿町」(神奈川県川崎市殿町)の多摩川対岸に位置しています

\*2: CPF  
細胞培養加工施設(Cell Processing Facility)のこと

2023年度見学実績.....67件  
(セラボ羽田、セラボ殿町、その他再生医療関連施設の合計数)



### 細胞培養受託事業の拡大～市場の開拓と持続的な成長～

2023年度より、セラボHS社が運用する製造所「セラボ殿町」において細胞製剤の製造受託サービスを開始しています。受託品は、ガイアバイオメディシン社が開発した難治性希少疾患向けがん免疫製品「GAIA-102」の治験薬となります。

本事業の拡大を目指し、川崎市殿町地区の細胞培養受託拠点を増設しました。細胞加工技術をお客さまへ広くアピールすることで、治験薬の他、再生医療で広がる自由診療用細胞や研究用途などの特殊な細胞の製造案件を獲得することを目指します。

